

地域ケア推進会議 報告書

【医療・介護連携に関する場合のみ】

提出日	2022年3月8日
作成 高齢者支援センター	忠生1
作成者	齊藤 郁子

1.開催日時	2022年2月22日	(火)	15:30	～	17:00	
2.会場	オンライン会議					
3.主催センター	忠生1	0	0			
4.参加人数	30人					
5.参加者内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者支援センター	6人	<input checked="" type="checkbox"/> 医療と介護の連携支援センター	2人		
	<input type="checkbox"/> 医療関係者	人	(うち、医師	人)	<input checked="" type="checkbox"/> 介護事業者	22人
	<input type="checkbox"/> 民生委員	人	<input type="checkbox"/> 老人会	人	<input type="checkbox"/> 住民	人
	<input type="checkbox"/> 町内会自治会	人	<input type="checkbox"/> 警察	人	<input type="checkbox"/> 行政	人
	<input type="checkbox"/> その他	()			
6.開催テーマ	リハビリテーションの専門職に学ぶ生活機能向上の視点					
7.地域課題	<p>(1)課題設定の背景</p> <p>コロナ禍における外出機会の減少に伴いフレイルの進行等で介護保険の申請相談が増加している状況があり危惧している。</p> <p>(2)検討した地域課題</p> <p>フレイル状態にある高齢者に対し、日常生活の中でどのようなところに気を付けたらよいのか、どのような環境整備が必要なのか各専門職個々の対応となっており統一されていない現状がある。地域として自立支援・重度化防止の視点を共有していく必要がある。</p>					
8.会議の内容	<p>■日常生活の中でどのような視点や生活環境のアセスメントを行うと日常生活の活動性をアップできるのかリハビリ専門職からのアドバイスを受けた。</p> <p>■困りごとや個々が抱えている課題、感想などの共有</p> <p>■社会資源冊子の紹介、利用について情報共有</p>					
9.課題に対する対応策・今後の地域での展開	<p>課題に向けて目的の明確化、グループワークが出来ず効果的な話し合いには至っていないが、感想や意見を聞き合いコロナ禍での地域課題の把握、共有が出来た。日常生活の環境、ケアプラン作成時のアセスメントのポイントについて講師からアドバイスを受けたことを活用する為に、個々の事例を基に社会資源の具体的な活用に向けて、利用者や地域住民への情報発信や取組みを考える会議へと発展していきたい。</p>					

医療と介護の連携支援センター 確認欄

 確認済み